



聖日礼拝プログラム

今週のみことは

司会者 渡邊貞雄師

ONLINE礼拝

「…驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あなたの方にはおられません」マルコ一六・六

讃美★新128	イースターの朝には	—	同
主の祈り		—	同
讃美★新127	墓のなかに	—	同
交読詩篇16:1~11		—	同
祈禱			渡邊頼子師
聖書マルコ16:1~8			司会者
説教「希望への十字架」			渡邊貞雄師
献金★新123	救いの主は	個人個人で	
頌栄新63	父、御子、御霊の	(起立)一同	
祝禱			★印。=全節朗読
報告			司会者
受=なし / 操=渡邊師 / A=なし / 報=牧師			

〒515-0044 三重県松阪市久保町1445-7 COG松阪キリスト教会
TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子



2022年4月17日 VOL. 45-16 No. 2372 URL <http://matukyo.com/>
Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 本日は主が甦えられた記念のイースター(復活節)。復活の主を心から感謝し御前に礼拝をささげましょう。
- ▼ 春の季節を覚える時となりました。ZOOMの礼拝が続きますが、祈りつつ祝福を受けとりましょう。
- ▼ 来週の聖日から、旧約聖書の大預言書からの礼拝となります。ぜひ、

ご自分でもお読みいただきお加わりください。来週はイザヤ書です。

- ▼ 今週は次の会議が予定されています。①東海福音フェローシップ(TEF)(18日午後)、②COG教役者生涯対策P(18日夜)、③JEA教団代表者の集い(19日午前中)。



- 来週礼拝イザヤ6:1~13
- 主 題「イザヤの見た幻」

にれ はみ

2022年4月10日
聖日礼拝
マルコ15:21~41
「主イエスの十字架」
説教 渡邊貞雄 師



今週は「受難週」。「ビア・ドロロ一サ」（苦難の道）の道行きに心しよう。

I クレネ人シモン

徹夜の不法裁判を受け主は衰弱された。十字架を「無理やり」背負わされたシモン。このことが彼の生涯を変えた。シモンは「アレクサンドとルフォスの父」（21）。アンテオケ教会には、「ニゲルと呼ばれたシメオン」（使徒13:1）がいた。パウロは「彼（ルフォス）と私との母によろしく」（ローマ16:13）と手紙を書いた。

総合するとシモンは強い恩寵の十字架を負い、自分と二人の息子と妻も信仰をもち、アンテオケ教会の良き会員となり、パウロに宿と交わりを提供し、宣教を支える人物となった。

II、祭司長と律法学者

彼らは高教育、神を語る先生で高貴な服をまとっていたが「同じように…代わる代わる」（31）、通り過ぎる人々（29）と一緒に主をののしった。

その背景には、主への妬みと憎しみの根深さがあった。主イエスを邪魔者として抹殺したかったのである。彼らはこの処刑を以前から計画して群衆を

扇動し、カムフラージュして、その願いを遂げようとした黒幕たちである。

群衆に紛れ込み、目的を遂げようとした罪深い姿を見る。私たちはいつも透き通った、蛇のように睨く鳩のように敏感な素直さを持ち合わせていたい。

III、百人隊長（39）

彼の職分は100人の兵隊を束ねる隊長で、自分の言葉が力と重みを持っていることかを自覚していた。その隊長が「この方は本当に神の子であった」（34）と叫んだ。彼は「イエスの正面に立っていた百人隊長」。十字架の主を直視し、そのインパクトと迫りを実感し信仰告白をした。十字架を前にして、自分の人生は間違いだたと悟ったのでは。「イエスの正面に…」とは、意味の深い言葉！「君もそこにいたのか」の讚美がある。私たちは十字架の何処に立って主を見ているのだろうか。

「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」を「莊嚴なる神秘」と語った説教者がいた。神から見捨てられ孤独と暗黒のどん底を知った者の叫びである。苦しむ十字架の主に救いも奇跡も起きなかったことこそ、奇跡ではなかったのか！